

## 4.22. SNMP対応機器監視設定-変化検知画面

SNMP 対応機器監視機能の変化検知の設定をします。SNMP 対応機器から取得した値とその直前に取得した値を比較し、値が変化した場合の動作を設定します。

### 【設定方法】

- ① 監視設定番号（1～5）を選択します。
- ② 機器名称を入力します。
- ③ 接続先アドレスを入力します。
- ④ 「判定条件」欄に定期的に取得するOIDを入力します。
- ⑤ 監視周期の秒数（0～60）を入力します。省略または0を入力した場合、監視機能が無効になります。

### ≪変化検知時の動作設定≫

- ⑥ 変化を検知した場合の本製品の動作設定をおこないます。
- ⑦ 変化を検知した場合のメール送信設定を選択します。  
メール送信を「有効」にした場合、「題名」・「本文」を選択後、「メール送信先」を選択します。
- ⑧ TRAP 送信をおこなう場合は、「有効」を選択します。

### ≪本製品が TRAP 送信有効時に送信する TRAP ≫

OID「1.3.6.1.4.1.20440.4.1.6.16」

名前「trapPatliteSNMPGetChange」

「4.9. リレー接点出力設定画面」で、デジタル出力を選択した場合、「デジタル出力」が表示されます。

- ⑨ デジタル出力の動作を「ON」「OFF」「変化なし」から選択します。
- ⑩ 「設定」ボタンをクリックして設定を反映します。

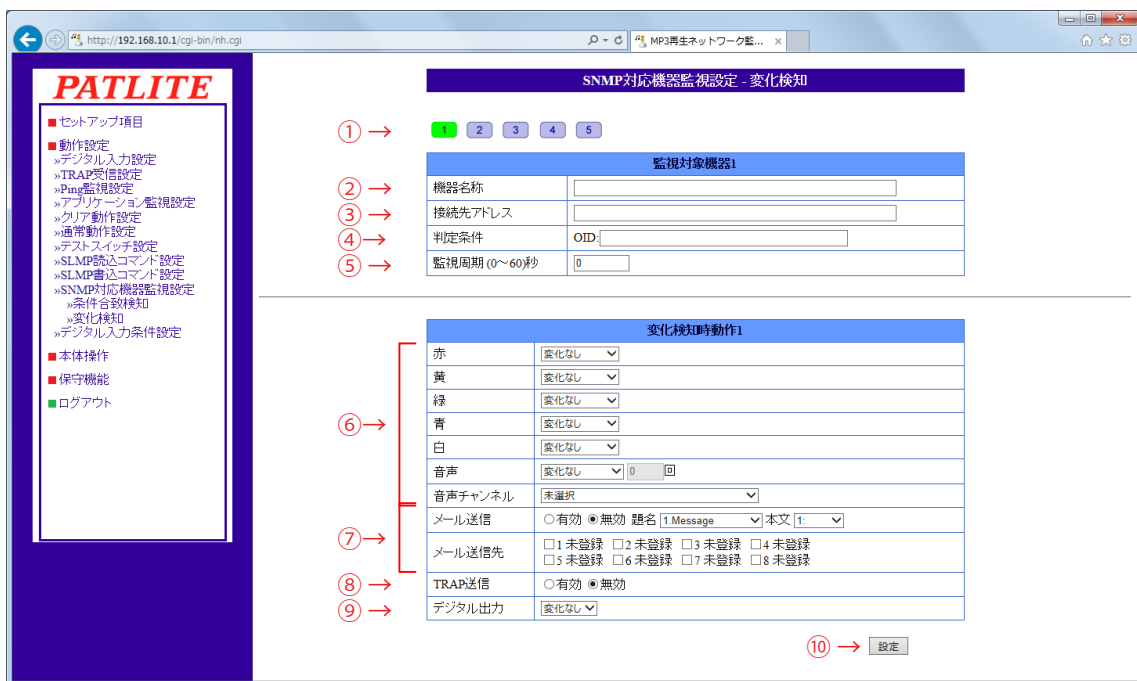


図 4.22.1 SNMP 対応機器監視設定 - 変化検知画面

表 4.22.1 SNMP 対応機器監視設定 - 変化検知項目

項目	内容	初期値	入力制限	設定省略
機器名称	監視対象の機器名称を入力します。	空欄	半角アポストロフィー「'」以外の全角半角最大 31 文字	○
接続先アドレス	監視対象のアドレスを入力します。	空欄	IP アドレス形式とホスト名に使用可能文字 最大 63 文字	×
OID (判定条件)	取得する OID を入力します。	空欄	数字と「.」(ピリオド) 最大 127 文字	×
監視周期	SNMP コマンドを送信する周期を入力します。0 を入力した場合、監視機能が無効になります。	0	半角数字 0 ~ 60	×
赤・黄・緑・青・白	表示灯各色について、「点灯」・「点滅 1」・「点滅 2」・「消灯」・「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×
音声	音声の再生パターンを「停止」「ワンショット再生」「リピート再生」「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×
音声 (「リピート再生」 選択時)	リピート回数を設定します。 0 回でワンショット再生となり、1 ~ 254 は指定回数 +1 再生、255 回で、エンドレス再生となります。	0	半角数字 0 ~ 255	×
音声チャンネル	登録されたチャンネルを選択します。	未選択	*	×
メール送信	メール送信の「有効」・「無効」を選択します。	無効	*	×
題名	メールの題名を選択します。	1.Message	*	×
本文	メールの本文を選択します。	1:	*	×
メール送信先	メールの送信先を選択します。	未選択	*	×
TRAP 送信	TRAP 送信の「有効」・「無効」を選択します。	無効	*	×
デジタル出力	リレー接点出力機能で「デジタル出力」選択すると表示。 デジタル出力として「ON」「OFF」「変化なし」から選択します。	変化なし	*	×

※表に記載している「設定省略」とは値の入力を省略する（空欄にする）ことができるかどうかを説明しています。

「○」が記載されている箇所は省略できます。

「×」が記載されている箇所は省略できない、または項目を選択して設定する項目です。